

第 77 回 日空衛 定時社員総会 報告

一般社団法人 東北空調衛生工事業協会
事務局長 佐藤 光好



令和 7 年 5 月 20 日（火）東京「帝国ホテル」で、第 77 回定時総会が開催されました。式次第は次の通りです。

1. 会長挨拶
2. 副議長選任
3. 議事録署名者選任
4. 議事
 - (1) 令和 6 年度事業報告
 - (2) 令和 6 年度会計決算報告
 - (3) 令和 7 年度事業計画案
 - (4) 令和 7 年度業界実践スローガン決議案
 - (5) 令和 7 年度入会金及び会費分担額案
 - (6) 令和 7 年度収支予算案
 - (7) 第 42 期役員を選任



開会にあたり藤澤会長は冒頭、業界を取り巻く状況として、バブル期前後に建てられたビルのリニューアル工事や、避難所となる学校、体育館の空調設備の今後10年間の加速化処置への対応などもある中で、担い手確保が課題となっている建設業では生産性の向上を図りながら働き方改革をさらに推進し、多様な働き手を確保・育成していく必要があると述べられました。それに対し日空衛としては昨年末に新たな目標を設定した働き方改革の行動計画を策定した事と、今年度からは建設現場の土日一斉閉所運動に、日本電設工業協会と共に参加したことを表明しました。又、会員企業に対しては、改修工事の場合、土日閉所は難しい面もあるが、新築工事では積極的な対応を求められました。更には空調衛生工事業をやりたい仕事、働きたい職場として認知されるよう、休日の確保の他、長時間労働の是正、現場事務所の環境改善なども進めたいと述べられました。



総会では令和7年度業界実践スローガンが決議されました。

1. 地球温暖化対策の先導役として、建物のライフサイクルで CO₂の排出削減に取組み、空調衛生工事業の技術力でカーボンニュートラルの実現に貢献しよう
2. 適正な工期の確保、施工現場の4週8閉所の拡大・定着等の働き方改革を進め、新4Kの実現により、未来を担う多様な人材の確保を図ろう
3. BIMの活用等建設DXを推進するとともに、人材の育成を進め、生産性の向上を図ろう
4. 法令の順守と人権への配慮により、社会的信頼の確保に努める事業運営を徹底しよう
5. 直接発注（分離発注）等の適切な発注方式を推進するとともに、建設業法の許可業種区分について「機械設備一式工事」又は「空調衛生工事」の実現を目指そう

総会終了後、理事会が開催され、藤澤会長が再任されました。東北関係では（一社）宮城県空調衛生工事業協会小林照和理事長及び（一社）秋田県空調衛生工事業協会阿部公雄会長が理事として再任されました。尚、小林理事長は併せて東北支部長も兼任されます。

その後、第70回功労表彰、そして来賓を交えた懇親会が盛大に行われ、中締め、散会となりました。

